



①北野恒富《五月雨》
昭和13（1938）年

大阪の日本画



②菅橋彦《赤日浪速人》
昭和30（1955）年

2023.4.15(土)~6.11(日)

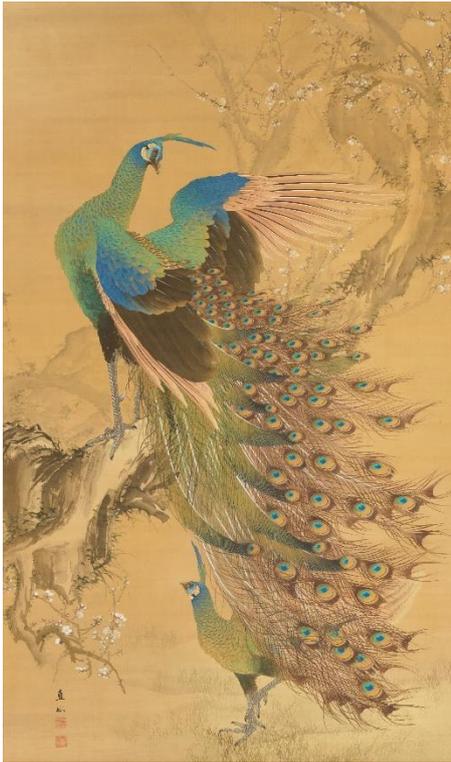


③島成園《祭りのよそおい》大正2（1913）年

◎ 大阪の近代日本画をテーマとした初大規模展が、話題の大阪中之島美術館からやってくる！
30年以上の準備期間を経て2022年2月に開館した大阪中之島美術館は、大阪の新たなランドマークとなりました。この館の1周年として企画された本展は、大阪の近代日本画を集めた初めての大規模展です。
かの地で育まれた珠玉の作品たちの、新鮮で洗練された世界を東京でぜひお楽しみください。

◎ 北野恒富、島成園、菅橋彦、躍動する個性が集結！

美人画の北野恒富、女性画家活躍の道を拓いた島成園。大阪の文化をユーモラスに描いた菅橋彦。新しい南画を主導した矢野橋村など、大阪の街で育まれた個性が、展示室を賑やかに彩ります。



④平井直水《梅花孔雀図》

明治37(1904)年 セントルイス万国博覧会銀メダル獲得作品

商工業都市として発展してきた大阪は、東京や京都とは異なる独自の文化圏を形成し、個性的で優れた美術作品を生み出してきました。町人文化に支えられた近代大阪の美術は、江戸時代からの流れをくみつつ、伝統にとらわれない自由闊達な表現をも花開かせました。

本展には、妖艶で頹廢的な作風で人気を博し、「悪魔派」と揶揄された北野恒富、大阪における女性画家の先駆者で、上村松園とも並び称された島成園など、明治から昭和に至る近代大阪で活躍した、約50人の才能あふれる画家たちが集結します。大阪の日本画に関する史上初めての大規模展覧会といえるでしょう。

東京画壇、京都画壇の陰に隠れて、その独自性が見えづらかった大阪の日本画。本展は、近代日本画の歴史を新たな視点で読み解く試みです。

(①から⑤ すべて大阪中之島美術館蔵)

⑤木谷千種《をんごく》大正7(1918)年



大阪の日本画

展覧会名:大阪の日本画

Japanese Paintings of Modern Osaka

会期: 2023年4月15日(土)~6月11日(日)

会場: 東京ステーションギャラリー

*本展は大阪中之島美術館(2023年1月21日~4月2日)で開催する「開館1周年記念特別展 大阪の日本画」展の巡回展です(内容は一部異なります)。

広報に関するお問い合わせ 東京ステーションギャラリー Tel 03-3272-2763